繰り返しくりかえし

怖いんだ

さめてしまうのが

鍵をかけたい だからこの思いを小箱にしまって

ひっそりと抜け出して けれど、恐怖はいずれ鍵穴から

戻ってくるんだ

鍵穴を二つにわけて

だから君と一緒に閉じたい

出口を細めて

そうすれば、わずかに溢れるだけだから

群を回して (僕は安心して

お父さん、有罪 お友達A、有罪

察れての疑り

そして私、有罪

ほか多数、

有罪

最後に桟ったのは、波擦れてちぎれる

最後に残ったのは、彼女だけだった

遥かな景色を見に行きたかった肉も骨も血も削ぎ落として、生まれ変わって何もかも捨てて、私は逃げたかった

私は行き詰まっていたけれどそれはできなくて

ただ心を悪魔に差し出して死ぬ理由もない

ただ、それだけなんだ

私は天国に行きたい

Listen,

LoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTr oveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTur veMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrue eMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueL MeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMetrueLo eTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLov TrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLove rueLoveMeTrueLov ueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMe ${\tt eLoveMeTrue$ LoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTr $\verb|veMeTrueLove$ veMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrue $\verb|eMeTrueLoveM$ MeTrueLoveMeTrue eTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLov TrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLove rueLoveMeTrueLove ueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMeTrueLoveMe

 $\verb|eLoveMeTrueL$

次章予告

助けて、と彼女は言った。 私は、気にもしなかった。

他愛のない日々の呟きだと、そう勝手に思ったのだ。

九月の終わり、かつての友人が私を訪ねてきた。

何ら理由はない。ただ近くによっただけ。彼女はそう言った。

.

重力に服従するその手を掴む。引きずられる体。だがすぐに軽くなった。 彼女は飛んだ。開放を目指して。この世界から逃げたくて。 割れた頭蓋から覗く脳。タンパク質の塊。心の壁。

私は吐き出した。